



■ちたまるスタイルが ウェルネスバレーを特集!!

知多北部の地域情報誌「ちたまるスタイル」が3月25日(水)発行の4月号で「ウェルネスバレー」について取り上げる特集を行いました。「健康」をテーマに、大府市・東浦町にある様々な施設やショップを紹介。大府市長×東浦町長の対談も必見です。



ローズマリー カモミール

四季折々に花や実をつける、百五十種類以上の薬用植物を植栽展示し、見て、体験して、楽しめる内容となっています。薬用植物の栽培や活用方法についても学ぶことができます。

■あいち健康の森「葉草園」が 4月28日(火)開園!

ゴールデンウィークには開園記念イベントを多数開催予定

詳細は4月1日開設のホームページをチェック!

<http://www.yakusouen.jp>

大府市森岡町9-319
(あいち健康の森・北西部)
☎052-954-6344 (愛知県医薬安全課)
9:30~16:30 月曜日



国立長寿医療研究センターと至学館大学が連携して開発。発売以来、毎日大人気の弁当です。1日30食限定!骨太弁当 700円

■「ウェルネスバレー骨太弁当」 げんきの郷できたて館で販売中

●親子木工教室

とき 4月5日(日) 19時~10時
15時
ところ ウッド・ビレッジ

4月6月までの第1・3日曜日に開催。地元の無垢材を使って木のベンチを作ります。五百円で参加OK!

●おぶ菜の花まつり

とき 4月12日(日) 9時30分~15時

ところ JAあぐりタウンげんきの郷ふれあい広場
NPO東知多菜の花プロジェクト主催のイベント。菜の花めぐり(スタンブラー)やステーションイベントなどを行います。

●サイエンスショー

とき 4月19日(日) 10時30分~14時

ところ あいち健康プラザ・健康科学館
「ドーンと巨大空気をかき立てるブーメラン」のサイエンスショーを開催。各回定員20名/9時30分~整理券配布

●変幻自在!カラフル実験

とき 4月25日(土) 10時30分~12時

ところ あいち健康プラザ・健康科学館
小中学生を対象に、暗闇で光るスライムなど、形が変わるものをテーマにした実験を行います。(事前予約制/保護者同伴可)

●げんきの郷ふれあいフェスティバル

とき 4月25日(土) 5月6日(水)

ところ JAあぐりタウンげんきの郷
餅つき・流しそうめん・ふれあいライブ・ぬり絵コンテスト・豆腐作り体験など、親子で楽しめる内容です。

●春2015年ウェルネスバレーめぐり

とき 4月29日(水) 5月21日(日)

ところ あいち健康の森公園あいち健康プラザなどウェルネスバレーにある10施設
各施設を歩いてめぐるスタンブラーイベント。スタンプを集めて、ゴールのウッドビレッジで景品を当てよう!

●わくわく!迷路ワールド

とき 3月14日(土)~6月28日(日)

ところ あいち健康プラザ・健康科学館
巨大迷路は楽しさいっぱい!!スタンプを集めながら、ゴールを目指そう。(要入場料)

●石ヶ瀬川ライトアップ夜桜

とき 3月21日(土)~4月15日(水) 18時~21時

ところ 石ヶ瀬川周辺
石ヶ瀬川の桜並木が、ほんほりのやわらかい光に包まれて幻想的にライトアップ。

●げんきの郷15周年感謝フェア

とき 4月4日(土)~5日(日) 10時~15時

ところ JAあぐりタウンげんきの郷ふれあい広場
いちご動物園・ふれあいライブ・植木まつり・フリーマーケット・産直加工品販売など、様々なコーナーで賑わいます。

対談

大府市・東浦町のトップが思う この地域の今と未来とは!

大府市長 久野孝保 × 東浦町長 神谷明彦



ウェルネスバレーの今までの歩み、 そして今後に期待することは?

久野市長(以下、市長) 大府市は、昭和62年に健康づくり都市宣言をされました。それをもとに、長い間「健康都市」政策を進めています。ウェルネスバレーはその中から生まれたプロジェクトです。国立長寿医療研究センター、あいち小児保健医療総合センター、あいち健康プラザなど、健康がキーワードの発展性の高い施設の存在を活かしたウェルネスバレー構想をつくり、その中の6つの基本理念を設けました。市民の健康、交流と賑わいづくり、生きがい、世代を超えた支え合い、地域に親しまれる農業、新たな産業の創造・育成。それぞれテーマごとにワーキンググループをつくり、多方面に展開しています。
神谷町長(以下、町長) この地域は自動車産業が盛んですが、将来この地域がさらに発展するためには、新しい産業も育てていかなければならないと感じています。その中で、地域の強みである健康・長寿関連に目を向けていくと良いのではと思います。東浦町としても、独

自に健康に関する取り組みを進めていて、あいち健康プラザで開催される健康づくり教室や東浦町オリジナルの健康講座を、住民の方たちにお値打ちに利用してもらえようという取り組みも以前から行っています。
市長 元々この地域は、農業や繊維産業が盛んですが、その産業構造が変化し、自動車産業に移り変わってきました。今は自動車で栄えているが、次世代はどうか?というところを目を向けないければ...と私も考えています。せっかくウェルネスバレーがあるのだから、東浦と大府は団結して、健康に関する産業に力を入れていきたいですね。
町長 大府と東浦、双方で話し合いながら、お互いの良いところを取り入れて発展させたいですね。この地域で、生きがいややりがいを見出せるような産業を作っていけたらと思います。

27年度の新たな取り組みとは?

市長 大府市では、国立長寿医療研究センターと一緒に「認知症不安せ口作戦」を進めていきます。認知症予防のプロگرامを開発して、センターと共同で行おうとしています。まずは、大府市民5千人を対象とした、認知機能低下の実態把握を行う予定です。国立長寿医療研究センターの認知症予防は日本の最先端で、特に運動療法に力を入れています。
町長 やはり適度な運動や筋トレは大切ですよ。東浦町は「健康体操」の歴史が長く、もう30年ほどになります。70歳以上の方々も、男女問わずみんなです。東浦町では、そんな健康活動に



健康づくりのために1時間程度のジョギングを続けているという久野市長。

対して「高齢者いきいきマイレージ」という制度をつくって、ポイントをとめているようにしてはどうかと考えています。まずは、健診をしっかり受けて基礎ポイントをもたつてからスタート。それから、自主的な健康活動やコミュニティなどの社会活動に応じてポイントのため、特典を得ることができるといいう仕組みです。
市長 大府市も「生元気ポイント」という制度を始めようとしているところなんです。どんな健康活動にポイントをつけるか、どんな風に市民に還元するかなどは、まだまだ練らなければいけません。名前は違っても、どちらもポイント制度なので、共通の愛称になつていくと良いかもしれません。こんな風に、東浦と大府が共に取り組める活動を増やしていきたいですね!



大好きなスキーと自転車通勤で無理なく運動していると話す神谷町長。